

名作展

涼風を語る

—龍子の描いた風景画を中心に—

令和4年

7月16日(土)～10月10日(月・祝)

- 開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)
- 入館料 大人 200円、小中学生 100円
※65歳以上(要証明)と6歳未満は無料
- 休館 毎週月曜 (7月18日(月・祝)、9月19日(月・祝)、10月10日(月・祝)
は開館し、7月19日(火)、9月20日(火)に休館)
- ギャラリートーク 事前申込制・各回の定員25名(先着順)
開催日: 7月31日(日)、8月28日(日)、9月25日(日)
各日 11:30、13:00 から 40分程度
ギャラリートークの詳細は、当館ホームページをご覧ください。
当館へお電話(03-3772-0680)にてお申込みいただけます。

※新型コロナウイルス感染拡大の防止策として、入館時にマスクの着用と手指の消毒、健康チェックシートへの記入をお願いしております。ご理解、ご協力のほどお願いいたします。また、展覧会の会期については、感染の拡大状況により変更の可能性があります。予めご了承ください。

Ryushi Memorial Museum

Ryushi Kawabata Exhibition July 16 - October 10, 2022
"Enjoying the cool refuge of his landscape paintings"

Kawabata Ryushi (1885-1966) is considered one of the great masters of modern Japanese-style painting. The Ryushi Memorial Museum was planned and designed by Ryushi himself and has a collection of more than 140 of his diverse works.

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1
ハローダイヤル 050-5541-8600



名作展

涼風を語る

—龍子の描いた風景画を中心に—

令和4年7月16日(土)～10月10日(月・祝)

Ryushi Memorial Museum Ryushi Kawabata Exhibition July 16 - October 10, 2022
"Enjoying the cool refuge of his landscape paintings"

かわばたりゅうし

日本画家・川端龍子(1885-1966)は、暑い夏が好きで自らを「夏の子の龍子」と名乗っていました。ある夏、思いのほか暑くならなかったことに対して、「寒暖計の赤棒が景気よくぐっと百度を指したなら」と不満をもらすほど龍子は暑い夏を求めています。そして、1934(昭和9)年には、サイパンやパラオ、ヤップ等の南洋の島々にまで旅立って、島民の暮らしを本展出品の《椰子の篝火》(1935年)に描きました。一方で、同じ年に発表された《炎庭想雪図》で龍子は雪景色を表しています。これは、真夏の庭に雪を降り積もらせることで、夏の子の龍子が、風流に涼をとるイメージを表現した一作とすることができます。

また、戦後になると、龍子は風景画に熟達したいという思いをもって、奥の細道巡遊や霊場巡礼の旅に出ては、史跡や名所を作品に描きました。奥の細道巡遊で日光を描いた《裏見の滝》(1955年)や、西国巡礼の際に訪れた《保津川下り》(1959年)からは、楽しげな旅の様子が伝わってきます。

このように本展は、龍子が暑い夏の盛りを表現した作品から、涼し気な風景を描いた作品まで展示し、画面に表されたそれぞれの「夏」をお楽しみいただける展覧会となっています。

関連イベント

■夏休み子ども向けプログラム

「観て、描いて、再発見 龍子を味わおう！」

日時：令和4年8月7日(日)

午前(10:00～12:00)・午後(14:00～16:00)

対象：小学3年生以上 定員：各回12名 参加費：無料

会場：大田区立龍子記念館に集合後、大田文化の森へ移動

お申し込み方法

※メールでのお申し込みは当館HPから

『回復はがき』または『FAX』でお申し込みください。「夏休み子ども向けプログラム」と明記し、参加希望回(午前・午後)、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、希望人数をご記入のうえ、右記へお送りください。【締切】令和4年7月27日(水)必着

※1通につき2名様まで可。参加者氏名に2名分のお名前を明記してください。

返信用はがきには代表の方の住所と氏名を、FAXでのご応募は返信用FAX番号を必ずご記入ください。

※お申込みいただいたお名前・ご連絡先は、必要に応じて保健所等の公的行政機関へ提供する場合がありますので、予めご了承ください。

【上】川端龍子《炎庭想雪図》1935年、大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata

Thinking of Snow - Covered Garden on a Hot Day, 1935

【下】川端龍子《椰子の篝火》1935年、大田区立龍子記念館蔵
Ryushi Kawabata, Bonfire of Palm Leaves, 1935

龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では、龍子設計のアトリエと旧宅を開館日にご覧いただけます。



アトリエ

ご案内時刻 (1日3回)

10:00、11:00、14:00 から開門します。(30分程度)

Ryushi Garden Guided Tour 10:00, 11:00, 14:00～

■当館へのアクセス



● JR 京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番
「荏原町駅入口」行乗車「白田坂下」下車、徒歩2分

● 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から
南馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩15分

Access

Ryushi Memorial Museum

4-2-1 Chuo, Ota-ku, Tokyo 143-0024
TEL:050-5541-8600

• From JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebaramachi Sta. Entrance, get off at Usuda-Sakashita bus stop and walk 2min.

• 15-min. walk from Toei Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit

Information

Opening Hours 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)

Admission Adults: 200yen, Minors: 100yen
Children under 6 and seniors over 65 are free

Closing Days Mondays (When a national holiday falls on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

次回展の予定

■名作展「コンストラクション 龍子作品の構築性をめぐって」令和4年10月22日(土)～翌1月15日(日)

川端龍子の作品は、モチーフの象徴性、表された意味の重層性、そして、大画面ゆえの空間性から、「構築的な絵画」という言葉で評されることがあります。本展では、構築性の視点から龍子の作品について再考します。

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央 4-2-1

ハローダイヤル：050-5541-8600

記念館直通：03-3772-0680

https://www.ota-bunka.or.jp/facilities/ryushi/



えがくかなでる ひびく

公益財団法人 大田区文化振興協会